

平成17年度 支笏洞爺二セコルート活動報告 《洞爺湖エリア》

0. 地域活動報告の概要
1. ルート運営活動計画に関する地域の報告
2. ルート運営活動計画に関する行政の報告
3. 地域及び行政の運営に関する報告
4. 審査委員会意見に関する報告

0. 地域活動報告の概要
 ・地域活動に関する報告(支笈洞爺ニセコルート・洞爺湖エリア)

ルート名称:支笈洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)		★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み	
基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成17年度 地域活動(総括)
景観形成	洞爺湖に彩を添える	眺望ポイントの調査研究 サクラの植栽 洞爺湖畔の清掃・彫刻の管理 花と緑(紅葉する樹木)の植栽 洞爺湖温泉の花・プランター整備	<ul style="list-style-type: none"> ・エリア全体の取り組みとして「看板撤去活動」が昨年度に引き続き拡大展開されるなど、活動団体の景観に対する意識向上が図られている。 ・今後は活動の継続に向けた仕組み・組織づくりについての再検討が必要。 ・今後も景観活動実施団体を中心として、「景観診断」等の結果も踏まえた、ルートの景観づくりに関する指針等の検討、及び作成を行う。
	温泉街らしさを演出する	湯煙のあるまちづくりの推進 温泉街のサインの統一	
	果樹園などの田園景観を整える	くだもの村の統一看板の設置 馬の歩く道景観づくり 花和地区の花壇整備 よこさん(453)キャンペーンの実施	
	エリアの景観ルールづくり	花による沿道の演出	
	看板やポロリの撤去		
	エリアの資源の発掘と保全活用	エリアの資源の研究会の開催 地域資源マップの作成 コミュニティビジネスの研究	
	エリアの産業の活性化	地産地消の推進 保養型温泉観光の推進 体験型農業の推進	
	エリアの人材育成	NPO化に向けた研修会の開催 地元小学校と連携した活動の推進 エリア人材登録制度の検討 タウンミーティング・ワークショップの開催	
	「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	温泉街ガイドブックの発行 おもてなしキャンペーンの実施 シーニックデッキの設置	
	資源と人材を活かしたエココミュニティの形成	フォトコンテストの開催 エコミュージアムガイドブックの発行 エコミュージアムツアーの企画 ターゲットを絞った散策・体験ツアーの企画運営 エリア人材バンクの設立 マップ・パンフレットの作成	
観光振興	洞爺湖エリアの観光サービス機能の充実	物産展の開催 花和地区の花壇整備 ホームページやエリアマップなどの情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、観光振興に関しては個別の活動に比重が置かれていたが、後半にかけてエリア全体・ルート全体の取り組みに向けた検討が進められている。 ・今後、洞爺湖エリアの観光振興として重点的に検討すべき事項は以下の通り。 ・「食・健康」の取り組みに関する検討(地場産品活用、温泉等) ・各種のターゲットごとの観光振興方針の検討。(海外、道外、札幌圏等のターゲット) (各種インフラ点検、受け入れ態勢検討等) ・情報提供に関する活動の検討。(エリア情報窓口・冊子・マップ等)
	シーニックバスツアーの企画・運行		
	エリアの資源を活用した複合ツアーの企画		
	イベントの企画・運営		
	人材育成のための研修会などの開催		
★ルートを対象としたイベントの企画・実施(キャンドルナイト〜灯りで繋ぐ雪の道〜)	S T - 2		
★ルートを対象としたツアー等の企画・実施(外国人観光客モニターツアー)	S T - 4		
★ルートを対象としたエリアマップの企画・発行(ドライブマップ)	S T - 5		

1. ルート運営活動計画に関する地域の報告
 ・地域活動に関する報告(支笏洞爺二セコルルート:洞爺湖エリア)

ルート名称:支笏洞爺二セコルルート(洞爺湖エリア)		報告者:支笏洞爺二セコルルート 洞爺湖エリア代表 白井祐輔		報告年月:2006/3/31			
★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み							
基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
洞爺湖に彩を添える	眺望ポイントの調査研究		調査研究までは達しなかった。	ゆつたリズム団体 陸奥倶楽部	平成17年度	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、主に札幌国際大学や虹田高等学校と連携した取り組みに専念したため、眺望ポイントの調査は行われなかった。今後学生との連携活動において 有珠山噴火の被災にあった洞爺湖温泉の復興支援と清掃活動を目的とし、当日は300名を超えるボランティア参加者によって、洞爺湖岸の清掃活動、花壇整備や街路樹の植樹などを行った。 	
	サクラの植栽		「MOVE 洞爺湖 2005」	洞爺湖温泉観光協会 洞爺にぎわいネットワーク 壮瞥町観光協会 ほか	2005/4/29		
洞爺湖畔の清掃・彫刻の管理	花と緑(紅葉する樹木)の植栽	ST-1	『シーニック花壇の整備(駐車帯の緑化活動)』	洞爺にぎわいネットワーク 観光協会 レイクトピア21 ほか	2005/8/7	<ul style="list-style-type: none"> 国道230号沿いの駐車帯(虹田町入口付近)に活動団体の方が種から育てた3種類のマリゴールとを植栽。 虹田町の玄関口として観光客を温かく迎えることを目的に実施植栽後も定期的に活動団体が中心となり、清掃活動を行っている。 管内の福祉施設と連携した活動展開(花の育成～植樹まで)を図りたい。 	
	洞爺湖温泉の花・プラントー整備		プラントー整備	洞爺にぎわいネットワーク	7月		
温泉街らしさを演出する	湯煙のあるまちづくりの推進		手湯・足湯・スタンプラリー	洞爺湖温泉観光協会	2005/9/1- 2006/6/30	<ul style="list-style-type: none"> 昨年引き継ぎ実施。 今年度はシーニック花壇と関連づけ、管内の福祉施設と連携した活動展開(花の育成～植樹まで)を図りたい。 12箇所のスタンプを集め、応募するとペア宿泊券などが当たるキャンペーンを実施。 関係機関連携事業としてレイクトピア21を中心にサイン整備について検討を進めた。 	
	温泉街のサインの統一		サイン整備についての検討	洞爺湖温泉観光協会 壮瞥町観光協会	継続検討中		
景観形成	くだもの村の統一看板の設置		くだもの村の統一看板の設置	そうべつくだもの村	継続展開中	<ul style="list-style-type: none"> 平成15年度に「くだもの村統一デザイン看板」を新たに設置したことから、平成16年度既設劣化した看板を撤去することとした。 「馬に乗って蹄鉄を探すゲーム(トレジャーハンティング)」は、年3回実施。 雪が降りるまでに3回実施。参加者には紙ね好評。 各20名弱の参加者有り(2,000～5,000人/回) 	<ul style="list-style-type: none"> エリア全体の取り組みとして「看板撤去活動」が昨年度に引き継ぎ実施され、活動団体の景観に対する意識向上が図られている。 今年度は活動の継続に向けては、組織づくりの再検討が必要。 今年度も清掃活動を実施。 団体を中心として、「景観診断」等の結果も踏まえて、ルートの景観づくりに関する指針等の検討、及び作成を行う。
	馬の歩道景観づくり		「馬に乗って蹄鉄を探すゲーム(トレジャーハンティング)」	大滝冒険倶楽部	年3回		
異樹園などの田園景観を整える	花和地区の花壇整備		実施せず	洞爺湖温泉観光協会	-	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、シーニック花壇整備を主な緑化活動としたため、花和地区については実施しなかった。 今後実施の有無については、再度検討を行う。 	
	よごさん(453)キャンペーンの実施	ST-2	よごさん(453)キャンペーンの実施	そうべつくだもの村 大滝冒険倶楽部 洞爺にぎわいネットワーク ほか	2005/6/19		
エリアの景観ルールづくり	花による沿道の演出		沿道美化活動	そうべつくだもの村 壮瞥町観光協会 ほか	平成17年度	<ul style="list-style-type: none"> 国道453号沿いの清掃活動やプラントー設置等の花による沿道美化活動が町内各単位、個人単位で自主的に実施されている。 エリア代表者会議にて、ビューポイント調査等と絡めた形で次年度さらなる検討を進めることに決定。 	
	看板やノボリの撤去		看板設置状況調査及び景観阻害看板診断並びに撤去実施調査	エリア全体での検討 そうべつくだもの村 壮瞥町観光協会 「レイクトピア21」推進協議会 エココミュニケーション構想推進部 会	継続検討中 継続検討中		

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)		報告者:支笏洞爺ニセコルート 洞爺湖エリア代表 白井祐輔		報告年月:2006/3/31		
★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み						
基本方針	エリア計画活動内容	NO	活動内容	活動実施日	成果及び課題	総括
エリアの資源の発掘と保全活用	エリアの資源の研究会の開催		エリアの資源の研究会の開催	平成17年度	・フィールド(自然・火山・環境)学習事業と資源調査を13回実施。	・エリアの人材育成等についての取り組みは実施されたが、産業活性化に関する取り組みが行われず、今後はコミュニケーションイベント等についても検討が必要である。
	地域資源マップの作成		地域資源マップについての検討	平成17年度	・札幌国際大学、虻田高校との連携活動、HP制作を主な取り組みとしたため、地域資源マップについては、次年度の検討課題となった。	
エリアの産業の活性化	コミュニティビジネスの研究		実施せず	—	・今年度は、主に札幌国際大学や虻田高等学校と連携した取り組みに専念したため、コミュニティビジネスの研究は行われなかった。今後学生との連携活動において取り組む予定。	・「環境」の視点を取り入れた活動検討、及び展開を図る。 ・地域資源活用による情報提供の活動を次年度、重点項目として位置づける。 ・地域資源ツアー(ポラントニアカイト参加)の企画、実施。 ・海外観光客受け入れに向けた、検討、ソフトインフラ整備。
	地産地消の推進		実施せず	—	・今年度は、主に札幌国際大学や虻田高等学校と連携した取り組みに専念したため、地産地消の推進は行われなかった。今後学生との連携活動において取り組む予定。	
	保養型温泉観光の推進		「健康促進型の温泉活用と食事法」の実験実施	平成17年度	・レイクトピアの取り組みとして「健康促進型の温泉活用と食事法」に関する実験を実施。 ・対象は、同様の世代の道内観光客。(長野県の鹿教湯温泉を参考に)	
	体験型農業の推進		そうべつりんご祭り等でのPR	2005/10/19	・そうべつりんご祭り等のイベント等によって、体験型農業の推進を行っている。	
	NPO化に向けた研修会の開催		実施せず		・町村合併等の関係から、レイクトピア21のあり方(存続等)について検討中であり、NPO化については議論されていない。	
エリアの人材育成	地元学校と連携した活動の推進		地元学校と連携した活動の推進	継続検討中	・次年度予定の観光イベントや地域住民活動への生徒や学生の参加や役割等について、現在虻田高等学校、札幌国際大学と連携した検討を進めている。	
	エリア人材登録制度の検討		情報発信・ガイド事業の実施	平成17年度	・地域ボランティアを対象とした来訪者向けの情報発信・ガイド事業を6回実施。	
	タウンミーティング・シーニック塾の開催		研修会などの開催	平成17年度	・各活動団体に独自の研修会が開催されている。 ・レイクトピア21では、エリアの資源の研究会が数回開催された。	

ルート名称:支笏洞爺二セコルルート(洞爺湖エリア)		報告者:支笏洞爺二セコルルート 洞爺湖エリア代表 白井祐輔		報告年月:2006/3/31			
★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み							
基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	温泉街ガイドブックの発行		温泉街ガイドブックの発行に向けた情報収集	洞爺にぎわいネットワーク	平成17年度	・地域住民が主体に参加できる地域と密着した鮮度の高い情報収集・提供を目指し、現在情報収集中。 ・今後はエリア全体の取り組みとしての展開を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、観光振興に關しては個別の活動に比重が置かれていたが、後半にかけてエリア全体・ルート全体の取り組みに向けた検討が進められている。 ・今後、洞爺湖エリアの観光振興として重点的に検討すべき事項は以下の通り。 ・「食・健康」の取り組みに関する検討(地場産品活用、温泉等) ・各種のターゲットと観光振興方針の後の「ターゲッ」(海外、道外、札幌圏等) ・各種インフラ点検、受け入れ態勢検討等) ・情報提供に關する活動の検討。 (エリア情報窓口・冊子・マップ等)
	おもてなしキャンペーンの実施		「観光誘致キャラバン」の実施	洞爺湖温泉観光協会 洞爺にぎわいネットワーク 壮瞥町観光協会	年3回	・「観光誘致キャラバン(名古屋、札幌、青森)」として、道内外での洞爺湖温泉のPRを実施。(継続事業、壮瞥町観光協会と連携して実施。)	
	シーニックデッキの設置	S T - 3	シーニックデッキの設置	そうべつくたもの村	2005/9/10-10/10	・道の駅「そうべつサマズ」に隣接し、一面に広がる果樹園と昭和薪山を一望できるデッキを新設。 ・次年度以降の販売展開に向け、壮瞥特産取れたて果実のジュースの試飲も実施。 ・デッキを設置したことで、今まで以上に外でゆっくりくつろいで頂くことができ、観光客の滞留効果につながった。	
	フォトコンテストの開催	S T - 4	フォトコンテストの開催	洞爺にぎわいネットワーク	2005/9/17-30	・シーニックハイウェイや活動内容の普及を目的に、今年はこの会場の他に、持ち回り(病院、役場など町内2~3箇所)で作品展を開催することになった。 ・今後は支笏洞爺二セコルルートとしての活動展開を図る必要がある。	
	エコミュージアムガイドブックの発行		エコミュージアムガイドブック:未発行	レイクピア21	継続検討中	・業までは作成し、印刷を残すみの状況まで出来ていたが、財源の確保が出来なかったこと、市町村合併等に關連し、発行に至っていない。	
	エコミュージアムツアーの企画		エコミュージアムツアー	壮瞥町観光協会 レイクピア21 ゆつたりリズム体験倶楽部 大滝冒険倶楽部	年6回	・来訪者を対象とした情報発信・ガイド事業を6回実施。	
	ターゲットを絞った散策・体験ツアーの企画運営	S T - 5	ホーストレジャーハンティング(馬に乗って玉さがし)	大滝冒険倶楽部 大滝アウトドアフェスティバル 共催)	2005/9/18,19	・当日は天候が今一で人手が少なかったが、来て頂いた方には活動のPRができ、喜んで頂けた。 ・今回は共催という形で参加したが、個別活動と連携活動の充実を図りたい。	
	エリア人材バンクの設立		エリア人材バンクの設立	洞爺にぎわいネットワーク ゆつたりリズム体験倶楽部 レイクピア21 大滝冒険倶楽部	平成17年度	・地域ボランティアを対象とした来訪者向けの情報発信・ガイド事業を6回実施。	
	マップ・パンフレットの作成		洞爺湖マップの作成	洞爺湖温泉観光協会	平成17年度	・洞爺湖マップ(合併による新規更新)。12万部印刷。 ・次年度4月以降発行予定。 ・制作・印刷費は、各自治体からの補助金	
	物産展の開催		「観光誘致キャラバン」の実施	壮瞥町観光協会 洞爺湖温泉観光協会	年3回	・「観光誘致キャラバン(名古屋、札幌、青森)」として、道内外での洞爺湖温泉のPRを実施。(継続事業、壮瞥町観光協会と連携して実施。)	
花和地区の花壇整備		実施せず	洞爺湖温泉観光協会	-	・今年度は、シーニック花壇整備を主な緑化活動としたため、花和地区については実施しなかった。 ・今後実施の有無については、再度検討を行う。		
ホームページやエリアマップなどの情報発信		洞爺湖エリアホームページの作成に向けた検討	ゆつたりリズム体験倶楽部 洞爺にぎわいネットワーク レイクピア21	継続検討中	・地域住民が主体に参加できる地域と密着した鮮度の高い情報収集・提供を目指し、現在検討中。 ・今後はエリア全体の取り組みとしての展開を目指す。		

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)		報告者:支笏洞爺ニセコルート 洞爺湖エリア代表 白井祐輔		報告年月:2006/3/31		
★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み						
基本方針	エリア計画活動内容	NO	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
	エリア計画活動内容 シーニックバスツアーの企画・運行		エリア全体での検討	継続検討中	・秋の455キャンペーンとエコミュージアムバスツアー”と題し、企画していたが、雨天中止となった。 ・内容としては、エコミュージアムを見学し、地域資源を体験してもらおう日帰りツアー。	
	エリアの資源を活用した複合ツアーの企画		エリア全体での検討	継続検討中	・道トレジャーハンティングと絡め、洞爺湖エリアの地域資源を巡るツアー	
	イベントの企画・運営		エリア全体での検討	継続検討中	・各種既存イベントの継続展開がされている。 ・また、新たなイベントとして、洞爺湖温泉観光協会を中心とした連携活動として「浴衣まつり」が企画されている。	
	人材育成のための研修会などの開催		エリア全体での検討	継続検討中	・各活動団体毎に独自の研修会が開催されている。 ・レイアウトピア21では、エリアの資源の研究会が数回開催された。	
	★ルートを対象としたイベントの企画・実施(キャンドルナイト〜灯りで繋ぐ雪の道〜)	S T - 6	洞爺湖温泉観光協会 洞爺にぎわいネットワーク ほか	2006/1/28,2/4	・洞爺湖エリアは温泉街を灯りで彩り、当初予定されていた場所以外の自発的な参加や、配布キャンドル以外のカラークャンドル、雪のオブジェなど、それぞれが嬉しいに雪と灯りを楽しむ2日間となった。	
	★ルートを対象としたツアー等の企画・実施(外国人観光客モニターツアー)	S T - 7	洞爺湖温泉観光協会 洞爺にぎわいネットワーク 壮瞥町観光協会 ほか	2006/2/22	・ニセコエリアとの連携強化が図れた。 ・参加者には満足して頂けた。外国人観光客のニーズを把握することが出来た。 ・次年度は、宿泊も想定した商品提供、メニュー開発が必要。	
	★ルートを対象としたエリアマップの企画・発行(ドライブマップ)		洞爺湖エリア活動団体	平成17年度	・洞爺湖エリアの紹介と他エリアの概要が把握できた。 ・既存のガイドマップとは異なり、シーニックハイウェイに特化した形でのマップが作成できた。 ・次年度は、さらなる周遊促進を目的とした情報提供の充実が必要。	

2. ルート運営活動計画に関する行政の報告
 ・行政の事業に関する報告（支笏洞爺ニセコルート）

ルート名称：支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)		報告者：室蘭開発建設部		報告年月：2006/3/31		
基本方針	平成17年度の活動内容	関係機関	活動実施日	成果及び課題	総括	
景観形成	洞爺湖に彩を添える	洞爺湖畔に面した国道230号沿いでの花壇整備に対するVSP事業としての活動支援。 (実施区間 L=60m)	担当事務所：有珠復旧事務所 協力自治体：虻田町	2005/8/7	活動内容：花植え・管理・除草・清掃	
	温泉街らしさを演出する	支笏洞爺ニセコルートをつなぐ「キャンデルナイト」への後援、活動への参加	室蘭開発建設部	2006/1/28,2/4		
	果樹園などの田園景観を整える	国道230号、国道453号の景観診断調査の実施	室蘭開発建設部	2005/11/28,12/1		
	「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	『よごさん(453)キャンペーン』への参加。VSP事業としての活動支援。 (実施区間 L=1,860m)	担当事務所：室蘭開発建設部 有珠復旧事務所 室蘭土木 弱業所、洞爺出張所 協力自治体：壮瞥町	2005/6/19	活動内容：清掃・除草 (広域清掃活動に参加)	
観光振興	人との出会い・ふれあいのある観光地のしくみづくり	「いぶり・さわやかアウトドアフォーラム2005(胆振支庁独自事業)」への参加 保養型温泉観光の推進	胆振支庁 壮瞥町 経済課	2005/12/21		
	洞爺湖エリアの観光サービス機能の充実	エコミュージアム友の会(事務局：壮瞥町)主催による各種地域資源調査等の実施。	壮瞥町 総務課			
地域づくり	エリアの資源の発掘と保全活用					
	エリアの産業の活性化					
エリアの人材育成	出前講座の実施	室蘭開発建設部				

4. 審査委員会意見に関する報告
・支笈洞爺二セコルورت(洞爺湖エリア)

ルート名称:支笈洞爺二セコルورت(洞爺湖エリア)		報告者:支笈洞爺二セコルورت 洞爺湖エリア代表 白井祐輔	報告年月:2006/3/31	
支笈洞爺二セコルورت		支笈洞爺二セコルورت運営代表者会議の報告	支笈洞爺二セコルورت行政連絡会議の報告	備考
シーニック ハイウェイ ルート全体 に対する意 見	景観への取り組み:景観意識の向上、景観や地域資源を生かしたコミュニケーションの創出	看板撤去活動の実施。今年度は西胆振6市町村(伊達市・虻田町・豊浦町・洞爺村・大滝村・壮瞥町)における設置看板の評価を行った。		
	持続性の確保:参加する各主体(国、道、市町村、活動団体、住民)による持続的な責任ある行動とその活動や成果に対する外部評価やアドバイザーの採用	平成17年10月2日(日)「昭和祈山生成60周年記念フォーラム」を開催し、コーディネーターに元NHK解説委員 伊藤和明氏をお招きし火山、防災・環境教育、エコツーリズムなどを地域住民と考えた。		
	地域特性の活用:北海道特有の気候風土を生かし、常に新しいものの追加、物語性の充実、国際競争力の強化を進め、通年性、持続性を確保	積極的な海外観光客誘致活動の展開(道内、道外、海外)や国際雪合戦の継続開催等を観光協会や自治体を中心となって実施している。		
	ホスピタリティ向上:研修プログラムの実施、地域での多様な人材育成	「いぶり・さわやかアウトドアフォーラム2005(胆振支庁独自事業)」への活動団体の参加。		
	全国・世界への情報発信、旅行会社等民間企業との連携	洞爺湖エリアホームページ作製に向けた検討を現在進めており、次年度(平成18年度)には開設予定。		
	開かれた運営体制、継続的な参加者の募集、地域住民やコミュニティとの連携・協働	「エコミュージアム友の会(事務局:壮瞥町)」が来年度新規団体として参入する。		
	既存観光地からの脱却を目指し、歴史・文化・レクリエーションなど幅広く地域の個性を生かした新たなツアーリズムの展開に向けた取り組みの実施	「エコミュージアム友の会」が来年度新規団体として参入することから、昭和祈山や洞爺湖を活用したさまざまな歴史、文化体験の連携メニュー等が提案されている。		
	今後、3エリアがひとつのテーマでつながり、ブランド化されるため、一層連携した取り組みが必要であるとともに、十分な体制と支援が必要である。	「ドライブマップ」や「キャンドルナイト」、「外国人観光客モニターツアー」の実施など、他の2エリアとの連携活動を実施した。		
	地域住民、旅行者が共有できるようなテーマ、ルート名(愛称含む)等の工夫が引き続き必要	新たなビューポイントの創出に関する検討会等を次年度予定している。(平成17年度 景観診断結果等を踏まえて検討)		
	ウエルカム北海道エリアについて、市街地部の景観改善が本ルートの重要な役割を担うことから、景観意識の向上等に継続的に取り組んでいく必要がある。	-		
「食」文化について一層の取り組みを期待したい。	各活動団体それぞれが、地場産品のPR活動を展開している。具体的には、壮瞥町観光協会が物産展の開催。そうべつくたものが特製リンゴジュースの試飲をシーニックデッキにて実施した。			

支笏洞爺ニセコルート《洞爺湖エリア》
SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

ST-1
『シーニック花壇の整備（駐車帯の緑化活動）』

【内 容】 国道230号沿いの駐車帯（北田出入口付近）に活動団体の力が揃って3種類のマリーゴールドを植栽。北田町の玄関口として観光客を温かく迎えることを目的に実施。植栽後も定期的に活動団体が中心となり、清掃活動を行っている。

【主 催】 NPO法人 洞爺にぎわいネットワーク

【実施日】 8月7日（9月の集中活動に向けて実施）

【参加者】 15名

【効果と課題】 ・緑化によって玄関口としての機能が向上したこと、ゴミの量が少なくなった。
・案内の海知船と連携した活動展開（花の飾部〜植栽まで）を図りたい。



支笏洞爺ニセコルート《洞爺湖エリア》
SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

ST-2
『453キャンペーン』

【内 容】 そまづくたの村が中心となり、町内外の団体、関係機関の連携により、「良好な治産意識、貢献づくり」の一環として、国道453号や洞爺湖周辺沿線等沿線、駐車帯を主として清掃活動を実施。ひらふんテニアカラブ・プロプログラムとして登録。

【主 催】 ドラゴンズ大島建設事務所

【実施日】 6月19日（日）午前9時00分

【参加者】 150名



支笏洞爺ニセコルート《洞爺湖エリア》
SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

ST-3
『シーニックデッキinそまづくた』

【内 容】 道の駅「そまづくたサムズ」に隣接し、一面に広がる果樹園と昭和新山を一層できるデッキを新設。
次年度以降の原形復旧に向け、壮瞥特産取れたて果実のジュースの試飲も実施。

【主 催】 そまづくた七の村

【実施日】 9月10日～10月10日まで（休業ジュースの試飲は日のみ）

【効果と課題】 ・デッキを設置したことで、今まで以上に外でゆっくりくつろいで頂くことができ、観光客の滞在効果につながった。
・壮瞥特産ジュースの試飲は好評だったが、開催結果を参考に利用者ニーズに対応した次年度以降の販路開拓の検討が必要。



支笏洞爺ニセコルート《洞爺湖エリア》
SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

ST-4
『洞爺湖ぐるっと一周フォトコンテスト 入賞作品の展示』

【内 容】 洞爺湖周辺の美しい自然景観観賞を通じて再発見することを目的とした、フォトコンテスト入賞作品の展示を実施。

【主 催】 NPO法人 洞爺にぎわいネットワーク

【実施日】 9月17日～9月末まで（当初予定は19日までだったが、夏期に即して期間を延長）

【参加者】 約300名

【効果と課題】 ・シーニックハイウェイ活動内容の普及を目的に、今年はこの会場の他に、持ち回り（洞爺、倶利伽羅など）2～3箇所）で作品展を開催することになった。
・今回は受発物別館ニセコルートとしての活動展開を図る必要がある。



支笏洞爺ニセコルート《洞爺湖エリア》
SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

ST-5

『大滝アウトドアフェスティバル』

【内 容】 大滝村をアウトドア体験の基地として定着させ、体験交流人口の増加、宿泊客の増加等、観光振興を図ることを目指し、豊かな自然環境と、それを活かしたアウトドア体験が新たなまちづくりの希望になることのモデルケースとして継続して実施することを目的とする。

【事務局】 平成17年9月18日(日)、19日(月・祝)
【参加者】 50名(主催者除く、2日間の延べ人数)
【効果と課題】 ・天候が多手で人手が少なかったが、来て頂いた方には活動のPRができ、喜んで頂けた。
・今回は共催という形で参加したが、個別活動と連携活動の充実を図りたい。



支笏洞爺ニセコルート《洞爺湖エリア》
SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

ST-6

キャンダルナイト ― 灯りで繋ぐ雪の道 ―

【内 容】 シーニックハイウェイ「支笏・洞爺・ニセコルート」をキャンデルの灯りで結ぼうと各エリアが連携。キャンデル約20,000本の設置があり、支笏は雪あかりの散歩道を洞爺は温泉街を灯りで彩り、ニセコでは、ホテルやスキー場をほほえみ、雪だるまや熊知安節、蘭越節のまちなか、中山峠など道の駅へも広がり、当初予定されていた場所以外の自発的な参加や、配布キャンデル以外のカラーキャンデル、雪のオブジェなど、それぞれが思い思いに雪と灯りを楽しむ2日間となった。

【実施日】 1月28日(土)、2月4日(土)
【主 催】 NPO法人ニセコ半開扉祭の会、京博開扉祭の会、NPO法人洞爺に響かひネットワーク
【共 催】 NPO法人支笏湖まちづくり協議会、洞爺湖NPOセンター、洞爺村づくり研究会、ニセコ観光振興の会、ニセコ広域観光振興会、NPO法人のべつりバーネット、きもへつWAO、洞二セコリゾート観光協会、洞爺WAO



支笏洞爺ニセコルート《洞爺湖エリア》
SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

ST-7

『外国人観光客モニターツアー』

【目 的】 ①ニセコ地域を訪れる外国人旅行者(主に豪人旅行者)の周遊・レクリエーション活動に対するニーズ把握
②広域周遊環境改善による支笏洞爺ニセコルート全体の魅力向上、集客力の増加
③連携事業によるエリア間の連携強化

【実施日】 支笏湖コース 2月15日(水) 洞爺湖コース 2月22日(火)
【実施主体】 支笏洞爺ニセコルート代表者連絡会議(ニセコ半開扉エリア情報分科会)
【調査協力】 (北)北海道開発技術センター

